

# 平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.4 4

2009.4.6

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

真実を知り・興味を持ち・行動しよう!

総合会館大ホールに

## 3・20「世界の平和を願う市民のつどいin岩手」に450名が参加



ありもしない大量破壊兵器所持を理由にアメリカが仕掛けたイラク戦争開戦から、3月20日で6年が経過しました。この6年間、毎年この時期に開催してきた「世界の平和を願う市民のつどい」は、今年は「イラクの子どもを救う会」代表でフリージャーナリストの西谷文和さんをお呼びし、3月中旬まで取材してきたイラクの現状を最新映像で報告していただきました。

西谷さんの映像とお話の中には、米軍が大量使用した劣化ウラン弾やクラスター爆弾の影響でガンに侵された子ども、遺伝子異常で生まれた子どもがたくさん出てきます。戦争前には元気だったのに、原因不明の神経障害が起きはじめた子どもも。なぜ、子ども達がこんな目に遭わなければいけないのか・・・西谷さんのお話がすすむにつれ、悲しみと強い怒りが会場を包みました。イラク派兵された自衛隊員についても、劣化ウラン弾で汚染された地域サマワに派遣されたことから「ひとごとではない」と危惧。



さらにこの戦争は、ウソやでっち上げで始まり、歴史上最も「民営化された戦争」で一部の人たちの金儲けのために仕組まれ、民間の軍事会社に多額のマネーが流れ込んでいる、戦争はますます無人（機械）化、民営化が進み、ゲームが上手い若者が遠隔操作で攻撃するような戦争になりつつあると話し、「憲法九条を守り、自衛隊を海外に出させない運動を広げていかなければならない」と結びました。



講演後には西谷さんと参加者が一緒に大通りをピースパレードし、市民に世界平和を訴えました。

### 参加者の感想

- ・ 西谷さんの命がけの取材からイラクの実態を知ることができた。平和への思いをあらたにした
- ・ 驚きと憤りの連続でした。自分の勝手なイメージがいかにも間違いだったかを思い知らされた。

次回の署名行動

4月9日（木）昼の街頭署名宣伝を行います！  
大通り・野村證券前で12：00～45分間。  
是非、皆さん参加してください。

麻生首相主導！ソマリア沖海上自衛隊派兵！

# 「海賊対策は口実」銃撃戦対応新法「海賊対処法案」で 自衛隊が海外で



ソマリア沖海賊対策を理由に、3月14日、アデン湾に向かった自衛隊護衛艦二隻が30日現地に到着、日本関連船舶の警備を開始したと報道された。

1991年以降繰り返されてきた自衛隊の海外派遣（派兵）、「自衛隊法」「PKO協力法」「テロ対策特措法」「補給支援特措法」「イラク特措法」と、国会で新法も作りながら強行突破してきた。今回のソマリア沖派兵は、国会審議なしで、日本関連船護衛の名目で強引に「自衛隊法」の海上警備行動を適用した。今まで、日本近海で領海侵犯や不審船対応の海上警備をしていた護衛艦の、遠方のソマリア沖での長期警備が適法か問われている。

1月開催のシンポジウムで、政府高官が「自衛隊の新たな派兵先探しの中で、海賊問題が浮上してきた」と本音を語り、麻生首相は「強盗（海賊）にはやり返さないと仕様がなし」と海賊対策を強調した。

しかし、正当防衛・緊急避難のみの海上警備行動の武器使用基準を緩和する新法「海賊対処法案」を国会に上程し、銃撃戦対応を準備している。今回、初めて自衛隊が人を殺すことを正当化することになるのかと、身震いする思いだ。

先にソマリア援助が行われぬ限り、海賊予備軍は後をたたない。いきなりだった今回の派兵は、海外で戦争をする自衛隊整備にしか見えないのは私だけだろうか？



（岩手県消団連 事務局長 伊藤慶子）

訪問署名  
学習会

を続けて

北上「九条の会」

# 結成4周年

記念講演会(5月17日)

みなさんご参加を



北上「九条の会」は05年2月に結成。初めは広く市民の参加を呼びかけながら、市内各地の公民館等で学習会を中心に続け、その後「戸別訪問署名」や「九の日朝宣伝」に取り組んでいます。

訪問署名は2年前から原則月1回実施。まず訪問先の地域を決めて住宅地図をコピーし、そこを宣伝カードの宣伝と同時に2人1組で地図をチェックしながら訪問、不在はチラシをポストに貼ります。土か日曜日の10時～11時半に行動し、1日の署名は40～50筆ほどです。朝宣伝は昨年6月から始め、毎月9日の朝30分間、4号線と107号線の交差点で行い、横断幕やパネルを立てて出勤する人たちに宣伝しています。手を振って応えてくれるドライバーもいます。

27回目となった2月22日憲法学習講演会は、「どうして護憲派が改憲派を上回ったのか」と題して川島茂裕氏が講演し、市民ら60名が参加しました。川島氏は「護憲派」が多数になった理由（自衛隊のイラク派遣による危機感などから「九条の会」の運動が全国に草の根的に広がってきていること 防衛省・自衛隊の不祥事による信頼喪失）や田母神論文、ソマリア派遣問題等について話し、最後に「すでに世界的な意味を持ってしまった“九条”を変えることは国際世論の強い反発が確実で、それを押してまでやる理由は見つからない。」と述べ、改憲を許さない世論をさらに広げようと訴えました。

5月17日(日)には結成4周年記念講演会を、近隣市町の九条守る会との共催で開催します。みなさんぜひご参加をお願いします！

## 北上「九条の会」結成4周年記念講演会

「9条が変わるとどうなる私たちの暮らし」  
- 100年に一度の金融危機のもとで -

講師 小森陽一さん

(全国九条の会事務局長、  
東京大学大学院教授)

とき；5月17日(日)14：00～

ところ；北上市・さくらホール

(中ホール)

入場料；前売り券500円(当日600円)

高校生以下 無料